

「災害時に役立つ『やさしい日本語』セミナー」開催報告

外国人は地震等の経験や防災知識がない人が多く、特に日本語が十分でない場合、災害時に避難したり状況を把握したりすることができない可能性がある。今後、関東圏でも大きな災害が発生することが予想されていることから、在住外国人が12万人いる埼玉県でも早急な対策をとることが求められる。

そこで、災害時など有事の際に、外国人に速やかに情報を伝えられるように、行政関係者や外国人支援NGOのスタッフなどが「やさしい日本語」での情報提供について学ぶためのセミナーを開催した。

※ 詳しい内容については、別途報告冊子を作製します。

●実施概要

1 日時 平成24年12月10日(月) 10:00～15:30

2 会場 大宮ソニックシティ 国際会議室

3 参加者 95人

4 内容

時間	内容	講師
10:00～10:15	主催者挨拶、趣旨説明	
10:15～12:30 (15分休憩含む)	講義『やさしい日本語とは何か』 (やさしい日本語の基本を学ぶ)	前田理佳子氏 (大東文化大学 講師)
12:30～13:30	昼休憩	
13:30～15:00	やさしい日本語の実践 (グループに分かれて、実際にやさしい日本語の文を作る練習)	前田理佳子氏 (大東文化大学 講師)
15:00～15:30	地域でのやさしい日本語の活用について (参加者同士でディスカッション)	(財)埼玉県国際交流協会

5 参加者の感想

- ・日本人向けの情報を、やさしい日本語に変えるのがあんなに難しいとは思っていませんでした。勉強になりました。(30代女性・日本語教室ボランティア)
- ・多様な背景をお持ちの方々から、ご意見をいただくことの出来た貴重な機会でした。(30代性別無記入・行政関係者)

- ・あっという間の5時間でした。分かっているつもりやさしい日本語でしたが、いろいろな新しいことを気付かせてもらいました。ありがとうございました。(60代性別無記入・外国人支援NGO・NPO)
- ・大変参考になりました。やさしく、分かるように十分に伝えることがいかに難しいかをあらためて感じました。精進したいと思います。(60代性別無記入・日本語教室ボランティア)

6 会場の様子



講師の前田氏



やさしい日本語の基本について講義



参加者が多かったため、12グループに分かれた



グループごとに、文章をやさしい日本語に変える練習